

映画資料でみる

映画の中の 日本文学

Part 1

2008年4月4日(金)―7月20日(日) *月曜日は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室〈7階〉

開室時間：午前11時―午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金：一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料

料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。

*フィルムセンターの上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

東京国立近代美術館ホームページ：<http://www.momat.go.jp/>



谷崎潤一郎 お遊さま (1951年) 撮影時のスナップ
左から谷崎潤一郎(原作『蘆刈』)、田中絹代、堀雄二、溝口健二監督

Japanese Literature in Film Part 1 — From the NFC Non-film Collection

P.C.L. 超特作

夏目漱石原作 山本嘉次郎監督

五百里車は猫である

徳川夢声
丸山定夫
藤原釜足
宇留木浩
千葉早智子
英百合子

明るく楽しいP.C.L.

★関連企画(映画上映)

京橋映画小劇場No.10

映画の中の日本文学 Part 1

2008年4月18日(金)―5月4日(日・祝)

フィルムセンター小ホール [地下1階]



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

夏目漱石 五百里車は猫である (1936年、山本嘉次郎監督) ポスター



島崎藤村 夜明け前 (1953年、吉村公三郎監督) ポスター



森岡外 阿部一族 (1938年、熊谷久虎監督) ポスター



菊池寛 真珠夫人 (1927年、池田義信監督) ポスター

Japanese Literature in Film Part 1 — From the NFC Non-film Collection

映画の中の 日本文学

Part 1

映画資料でみる

世界の映画史をひもとけば、どの国の映画も、そこで生まれた優れた文学作品を糧として発展してきたことが分かります。映画大国日本も例外ではなく、その百年以上にわたる歴史を通じて、さまざまな文学者たちの残したテキストが脚本家や監督たちを絶えず刺激してきました。

この展覧会「映画資料でみる 映画の中の日本文学」は、フィルムセンターの展覧会の新しいシリーズとして、個々の文学作品が各時代の文化状況の中でいかに一本の映画に「翻訳」され、人々に伝えられていったかという道のりを、フィルムセンターの所蔵品を中心とするスチル写真・ポスター・シナリオなどの展示を通じてたどるものです。シリーズの第1回となるこの展示では、古代・中世から近世を経由して、明治期・大正期までに主に活躍した作家たちの原作による映画作品に焦点を当てます。

●ギャラリートーク
展示期間中、近代日本文化・映画史の専門家によるギャラリー・トークを開催いたします。
*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。



中里介山 大菩薩峠 (1957年、内田吐夢監督) 机籠之助を演じる片岡千恵蔵



山本有三 路傍の石 (1938年、田坂具隆監督) 吾一少年を演じる片山明彦



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>

▼ 交通

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

